



2025-26 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第1629回(13)

会 長 河 村 直 孝 幹 事 小 林 崇

クラブ会長テーマ



「 明るく楽しくみんなで奉仕 」

日	時	2025 年 10 月 28 日 (火) 12 : 30 ~
場	所	福山ニューキャッスルホテル
例	会 行 事	点 鐘 ・ ソング 「おお マイフレンド」 「ロータリアンの行動規範」唱和 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 スマイル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報		メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



**UNITE
FOR
GOOD**

【 会 長 報 告 】



皆さま、こんにちは。

秋の深まりとともに、朝晩は、ずいぶん冷え込むようになってきました。

10月19日の東広島での地区大会には多くの方に参加いただきありがとうございます。

懇親会を楽しみにされた方には、我々のテーブルが空いておらず、また、食べるものも充分になく残念な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。次回以降の懇親会の反省点として橋本ガバナー補佐を通じて土肥ガバナーにも報告させていただきました。

また、先日は、松永ロータリークラブ設立60周年の式典並びに懇親会に小林幹事と参加してまいりました。前田会長をはじめとする、メンバー皆さんのお人柄で、温もりを感じる時間でした。また、宴席では、ジャズ歌手によるディナーショーのようなひと時を過ごさせていただきました。

本日は「子ども食堂」について、福山市議会議員で活動されている木村さんに来ていただいております。

子ども食堂とは、地域の子どもたちが安心して食事をとれる場所として、全国に広がっている取り組みです。経済的な事情に関係なく、誰でも来られる「みんなの食堂」として、孤食の解消や地域交流の場にもなっています。

福山市では、NPO法人ヴァパウスさんが、学習支援と食の支援を組み合わせた「学習カフェ」という形で、子どもたちの居場所づくりをされています。福山駅前の商店街の一角にあるこのカフェでは、家庭の事情に関係なく、子どもたちが平日の夕方に集まり、勉強をしたり、晩ごはんを食べたりしています。

代表の木村素子さんは、「子どもたちが自分で学習内容を決めることで、自信と自尊心を育てたい」と語られています。また、食事は豪華すぎず、勉強に集中できるよう配慮されているそうです。このような細やかな心遣いが、子どもたちの安心と成長につながっています。

この活動は、まさにロータリーの理念「超我の奉仕」に通じるものです。自分のためではなく、誰かのために時間と力を使うこと。その積み重ねが、地域の未来を育てるのだと感じます。

私たちロータリアンも、こうした活動に関心を持ち、できる形で支援や連携を考えていけたらと思います。食堂の運営支援だけでなく、ボランティアや学習支援、イベントの開催など、関わり方はさまざまです。

子どもたちの笑顔は、地域の希望です。その笑顔を守るために、私たちができることを、これからも一緒に考えてまいりましょう。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

【 幹 事 報 告 】



No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・姉妹クラブ・友好クラブに関する情報提供のお願い ・R 財団 2024-25 年度認証バナー及び感謝状 送付について ・11/9(日) 「米山カウンセラー研修会」のご案内 ・2026-27 年度 ガバナー補佐任命についてのご報告
2	米山記念奨学会より ・ハイライトよねやま
3	福山東 RC より ・会員増強例会開催のご案内

【プログラム情報】



《 ゲスト卓話 》



NPO 法人ヴァパウス 代表
木村 素子 様



ヴァパウス設立 の背景

- ・ ひとり親家庭、多子世帯の多い地域において「地域子どもたちを地域で見守りたい」という保護者の声により設立
- ・ 子どもたちの声
「家に帰っても居場所がない」
「自分の希望を言ってもお金がないから実現できない」
「誰も自分のことをわかってくれない」



↓
中学卒業後の進路に大きく影響

ヴァパウスを 求める子どもたち の変遷

バックグラウンドに関係なく、自分の道を自分で切り拓きたいと感じている子どもたちやそうした可能性を秘めている子どもたちを受け入れ。

2006年 ひとり親家庭・多子世帯の子どもたち

2010年～2015年 いじめや家庭問題が起因の
不登校のこどもたち

2016年～ 発達に特性のある子どもたち

問題を抱えている こどもたち

非経済的要因

いじめ・孤立・学力低下・病気・学習障害・発達障害など、子どもたち自身が抱えている要因

経済的要因

家庭の経済状況による子どもたちの成育環境の不備・不足が要因

**自尊心・自己肯定感の低さが
子どもたちの進路に影響する**

ヴァパウスの 運営方針

- 学力は家庭の経済力に比例しない
- 自分たちの力で解決できる力を持つ
- やりたいと思ったことに挑戦し、経験をする
- 失敗体験の先にある成功体験を大切にする

ヴァパウスの 子どもたちの 現在

	夜の部	家庭訪問 オンライン	生活相談
小学生	2	0	0
中学生	3	1	0
高校生	5	1	2
高校生以上	1	1	5

チューターとして
大学生2人（学習支援）
大人3人（食事補助）

ヴァパウス 昼の部（現在休止中）

- ・ 人との関りが苦手な子ども
- ・ 自己表現を恐れている子ども
- ・ 大人に不信感を持っている子ども



- どんな表現でも受け入れる
- 子ども発信のアイデアを大切に
- 子どもたちの思いを引き出すが無理には引き出さない
- 関わり合いの中で緩急を交えた対応をする。

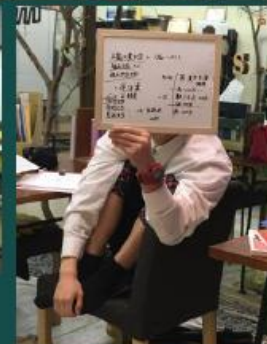


ヴァパウス 夜の部

- ・ 自分で計画して自分で学習を進める
自学自習形式
- ・ チューターは対話による導き
- ・ 子どもの考える時間を尊重
- ・ 高学年が低学年の学習を見ることも



- 自学自習を身に着けることで、高校生以上の学習に慣れていく
- 自分で計画したものを実施することで、やらされ感なく学習を進められる
- 高学年がモデルとなり、低学年の指針となる



ヴァパウス オンライン

- ・ コロナ禍での学習の確保のため、LINEのビデオ通話を利用

【実施例】

小学6年女子 特別支援学級（情緒）

学習における特性：漢字や語彙の取得が困難。

オンライン学習における課題：国語の教科書の音読

1回目：画面で読んでいるところをペンで指しながら、指導員がゆっくり音読する。

2回目：文節ごとに指導員が音読し、つづいて児童が音読する。

3回目：児童のみで1文ずつ読み、書かれている内容について1問1答する。

- ・ 保護者の相談もLINEで随時受付

家庭学習について保護者の不安を聞き、アドバイス



食事の提供

- ・ 腹が減ってはなんとやら
- ・ 食事をつくる・いただく・かたづける
- ・ 生活リズムを整えるポイント



- 最初は大人が作ったものを子どもたちが食べる、およばれ式
- だんだんと自発的に準備や型付けで手伝いをするように
- 自分が関わるようになって、食でつながる人々への感謝を実感する
- 家庭でもお手伝いするように



食事の提供



活動いろいろ



活動いろいろ



こどもたちに伝えたい
「ありがとう」と
「おかげさま」



【その他報告】



特にありません。

【 クラブ 活 動 報 告 】



特にありません。

**UNITE
FOR
GOOD**

2025-26 年度 RI 会長メッセージ